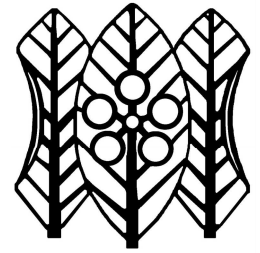


朝晩はだいぶ冷え込むようになりました。3年生は夏休みの成果が出てくる時期でもあります。学校で受ける（年間予定にある）センター型の模試も後2回となりました。来月末はいよいよセンタープレを受験し、ますますセンター試験が間近に迫ってきた感があると思います。ベネッセと駿台の共催模試も夏前のベネッセ単独の模試とは違って、浪人生が母集団に入っています。上位校を目指す人たちはこうした過年度生も競争相手になります。時間は限られています、各自が残された時間を無駄にせずがんばって欲しいと思います。今月は今更ですが、センター型模試があと2回ですので、センター型のテストについての最後のアドバイスです。



1) マークはどのように塗っていますか？

お勧めは、大問ごとにマークすることです。もし1問ずつ塗っている人がいたら、それはやめた方が賢明だと思います。本番の試験で最後にずれていることに気づいて、しかも時間がない時は相当慌てるのではないのでしょうか。以下がミスを防ぐためのアドバイスです。

①最後の問題番号を確認する。（私はマークシートに薄く鉛筆でチェックを入れておき、最後に消すようにしていました。）これをやることで、最後の1ページを飛ばしてしまったなどのミスは防げます。

②大問ごとにマークをし、必ず大問の最後の問題番号とマークにずれがないか確認をする。

2) 模試と本番の違い：地歴A科目の有無など

これまでの模擬試験では本番のセンター試験にある科目（地歴のA科目や理科総合AB）は入っていません。センタープレではA科目は入りますので、ここでうっかりA科目をやってしまい、科目不足で判定が出ないといったことがないように注意しましょう。模試での間違いならまだ救われますが、本番でのミスは致命傷です。また、数学も数ⅠAをやっているつもりが、数Ⅰだったということもまれにあります。模試に慣れてしまったために、慣れから起こる不注意なミスがありますので、注意して下さい。

3) 自己採点を正確に

私が担任をしていた頃、クラスで模試の自己採点が全科目きちんと合った生徒は3人しかいませんでした。本番の自己採点が10点も違うようでは出願に関わることもありますので、来月のテストではそのあたりにも注意を払って欲しいものです。

4) 勉強の偏りがないように

集会で皆さんにはお話ししましたが、理科・地歴・公民といった科目にばかり時間を割くのはやめましょう。確かに追い込みのきく科目ではありますが、英国数は問題を解く勘を鈍らせたりすると、本番で時間が足りないといったことにもなりかねません。特に、国語の文章勘を鈍らせると、1問あたりの配点も大きいので大失敗につながることもあります。配点が高い教科での失敗を防ぐようにこころがけましょう。

5) 英語は問題変更があっても大丈夫なように心の準備も

英語はマイナーチェンジが頻繁にある教科です。場合によっては大幅な変更があるかもしれません。どういう変更があっても、落ち着いて問題に取り組めるように心の準備をしておきましょう。また、そのためには普段から少し時間を余らせて問題を解けるようにしておくほうが良いでしょう。

センター試験前後の入試スケジュールの確認を！

10月 下旬	センター試験の確認はがき到着	
<hr/>		
12月 上旬～中旬	センター試験の受験票到着	
15日 まで	大学の募集要項が出そろふ	
<hr/>		
1月 13日 まで	ほとんどのセンター利用私大の締め切り（募集要項等で要確認）	
1月 14日 15日	センター試験	
16日	自己採点	
23日 ） 2月 1日	国公立大個別試験出願	前期・（中期）・後期を一括で出願します！
25日	国公立大前期試験	
<hr/>		
3月 1～10日	合格発表（公立 3/1～, 国立 3/6～）	国公立大中期・後期試験 (中期 3/8～, 後期 3/12～)
15日	入学手続き締め切り	
20日～		合格発表
27日		入学手続き締め切り